

会議報告書

1. 日時 平成19年12月25日（火）午後6時から7時10分
2. 場所 東習志野コミュニティセンター
3. 出席者

（委員）計11名出席、4名欠席

石井委員、岩崎委員、河野委員、沖山委員、白岩委員、関委員、瀬戸口委員、寺澤委員、広田委員、藤川委員、三橋委員（50音順）

※ 田村委員、徳能委員、平田委員、茂木委員 欠席

（学生）6名、習志野市3名、県事務局6名、住宅課2名

（事務局の補助説明者）ちばぎん総合研究所（県の受託業者） 2名

【議事】

「実羽5丁目市有地土地活用方針」策定のためのアンケート結果報告

習志野市の財政部から概要を説明した。

※ 委員からの意見は特になかった。

前回の研究会の議事概要について（確認）

○ 事務局から、前回の議事概要について確認の意味で説明した

※ 委員からの意見は特になかった。

現在の状況について

○ 事務局から詳細説明を行った。

（以下、□は委員の意見、○は事務局の回答など）

□ だいぶ詰まってきた感はある。組み合わせを勉強しなければいけない。

□ 殆どの要件は満たした感じ、我々の仕事は終わった感がある。

○ この事業の趣旨から考えて、施設が出来る際に地域の声を反映させる必要はあるので、引き続き御協力をお願いしたい。

今後の進め方について

○ 事務局から資料を説明した。

□ 利用者負担が高くなるか不安、また運営できるのかどうか？

□ 民間事業者任せると高額な利用料を支払うことになるのではと思う。既存のコミュニティセンターや多目的ルームは行政が支援して、利用料を抑えている。

○ 高齢者福祉施設は、介護保険料を徴収する。

○ 直接建物に対する支援は出来ないが、間接的な支援を県として考えている。

□ 他は施設に対して利用料を支払うのではなく、サービスに対し、対価を支払う。

（座長から）

□ オープンしたけど撤退ということでは困る。

議事後に、日本大学広田研究室の学生から出席委員に対してアンケートを実施